

### ○ エムケイ開発(株)が加入、阿部昌史代表理事が再任—首都圏ミートパッカー輸出連絡協

海外市場における日本産食肉ブランドの認知度向上とブランド確立を目的に首都圏・関東を中心とした畜産・食肉事業者で組織する「首都圏ミートパッカー輸出促進協議会」(代表理事：阿部昌史ミートコンパニオン代表取締役)は25日、東京・立川市のミートコンパニオン本社で15年度定時総会を開き、14年度事業および収支報告、15年度事業計画・収支予算など議案を原案通り承認したほか、輸出環境整備および海外販売促進活動について報告した。総会では、新規会員としてエムケイ開発(株)東京営業事業部(東京・港区、代表取締役河上喜一氏)の入会が承認されたほか、役員改選では阿部代表理事と副代表理事の原田智昌氏(原田畜産食品(株)代表取締役)を再任、貴志和男副代表理事の後任に桜井和己(山梨県山梨流通センター代表取締役)の就任を決めた。

15年度事業計画では、産地間連携による海外での販路開拓として、▽日本食材の理解と調理技術に関する事例紹介セミナー(実施時期11月：実施国タイ)▽日本食や和食へのメニュー化に関する事例紹介セミナーinタイ(12月：ベトナム、16年1月：タイ)——を実施してゆく。また輸出環境整備を図る取組みとして、(株)アグリリス・ワン(埼玉・和光市)において、専門知識を備えたSQFプラクティショナーの配置やSQF認証の更新を行う。

### ○ 鹿児島県の旭ファーム第1農場など9農場をHACCP推進農場に—中央畜産会

中央畜産会は6月30日、申請のあった9農場について、農場HACCP推進農場指定審査委員による審査の結果、「農場HACCP推進農場」として指定した。これにより、6月末現在の農場HACCP推進農場の指定は合計142農場、うち牛関係が34農場、豚関係が68農場、鶏関係が40農場。

今回の指定は、①i-Milk Factory(乳用牛・埼玉県熊谷市)、②高森農場(豚・熊本市)

### ○ 農畜産業振興機構6月30日人事異動

農畜産業振興機構は6月30日で次の人事異動を行った。



阿部代表理事は開会にあたって「当協議会は、国内産の優良な食肉等を、今後期待される

海外市場に向けて輸出を推進し、日本産食肉ブランドの認知度向上とブランドの確立を目的に2012年7月に設立され、今期で4期目を迎えることになった。設立当初から輸出に取り組む支援対象者として農水省から特認団体に承認されており、昨年度も国の支援事業の輸出拡大サポート事業に参画することができた。また、昨年12月には中央畜産会が中心となり、日本畜産物輸出促進協議会が発足し、当協議会も活動の成果が認められ、正会員としての加入要請を受け、臨時理事会の承認を経て発足当初の正会員としてすでに入会している。これらのネットワークを生かしながら、当会員の知恵と経験を生かし、海外のユーザーに販売するような仕組みづくりと、プロモーションなどを通して日本産ブランドの価値を高め、会員の海外輸出をより推進できるような活動を引続き行ってゆく」とあいさつした。

熊本市)、③沖縄県食肉センター辺名地農場(豚・沖縄県国頭郡)、④沖縄県食肉センター数久田農場(豚・沖縄県名護市)、⑤くにながみ畜産(豚・沖縄県国頭郡)、⑥旭ファーム第1農場(豚・鹿児島県薩摩郡)、⑦グリーンファームソーゴ(採卵鶏・京都府福知山市)、⑧安井ファーム(採卵鶏・富山県中新川郡)、⑨愛媛飼料産業菊間ファーム(採卵鶏・愛媛県今治市) —の9農場。

▽退職・財務省復帰(総務部調査役) 奈木野竜也。